迎春

ASSABU

広報厚沢部（あっさぶ）

ASSABU Town 2023. 1

Vol. 709

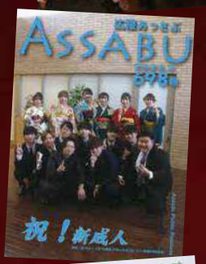
卯

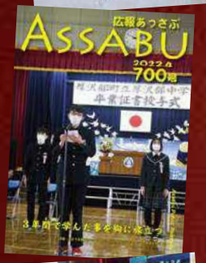
【表紙：赤沼神社での新年の準備『しめ縄づくり』より～関連記事16頁】

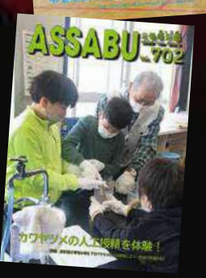
新春特集

２０２２年の厚沢部町のあゆみ

新春特集







（１月）
「厚沢部町最後の成人式」

▲『令和４年成人式集合写真』（２月号）

（６月）
「エネルギーの地産地消を促進」

▲『北海道ガス株式会社と連携協定締結』（７月号）

（４月）
「関係人口の創出につなげる！」

▲『保育園留学事業本格始動』（５月号）

（７月）
「続く工事の無事故を願う」

▲『新中山トンネル貫通式』（８月号）

２０２２年も広報あっさぶをご覧いただきありがとうございました。
２０２２年の主な出来事を広報あっさぶで振り返ります。

（７月）
「あっさぶメークインジャンボコロッケが世界一になる！！」

▲『あっさぶメークインジャンボコロッケギネス世界記録®認定式』（８月号）

（８月）
「食事もできる新商業施設が完成」

▲『新商業施設オープニングセレモニー』（９月号）

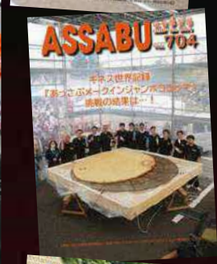
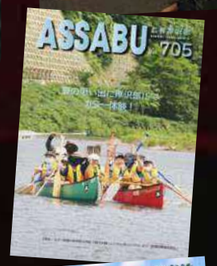
（10 月）
「８年の活動が実り地域商標登録」

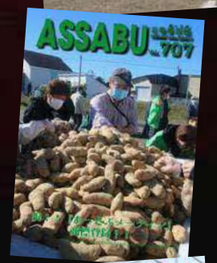
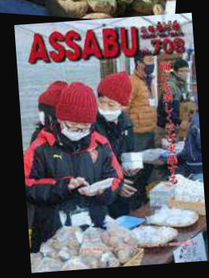
▲『あっさぶメークイン地域団体登録証伝達式』（11 月号）

（11 月）
「エネルギーの地産地消を図っていく」

▲『厚沢部太陽光発電所竣工式』（12 月号）

２０２３年どうか皆様にとって良い１年となりますように今後とも広報あっさぶをご愛顧賜りますようよろしくお願いいたします。

ゆく年あっさぶの１年

年頭のご挨拶

大きく飛躍する「素敵な過疎のまちづくりに邁進」

厚沢部町長
渋田正己

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

希望に満ちた令和5年の輝かしい新春を、皆様と共に迎えられますことを心からお慶び申し上げます。

今年は、私にとって町長就任以来4期目の任期満了の年であります。私はこれまで公約の着実な推進と新たな施策に取り組んでまいりました。これもひとえに町民皆様と議員各位のご理解、ご支援の賜と、心から厚く感謝申し上げます。

さて、昨年も新型コロナウイルスが猛威を振るう一年でした。変異を繰り返すウイルスが感染拡大を引き起こし、北海道でも連日、過去最多となる感染者数が報告されました。感染者数は減少傾向にあるものの高止まりで推移しており、3年ぶりに行動制限のない年末・年始を迎え、人流の増加によりさらなる感染拡大が懸念されるところです。

また、2月に始まったロシアのウクライナ侵攻は、長期間にわたり激しい戦闘が続いております。子供を含む多くの尊い命が犠牲となっており、人命を守ることを最優先に平和的な解決を願うところであります。

国内では、7月10日に第26回参議院議員通常選挙が行われ、自民・公明の与党が改選議席を大きく上回り、圧勝という結果に終わりました。10月には臨時国会が開かれ、岸田首相は、「日本が直面する歴史的な難局を乗り越え、未来を切り開くため政策を丁寧に実行していく」と表明しました。

政策の柱として、成長のための投資と改革では、社会的課題をエネルギー源として捉え、持続的な成長を実現させるため、デジタルトランスフォーメーション（DX）等に重点をおいて官民の投資を加速させるとしています。DX対策では、マイナンバーカードの健康保険証との一体化や利便性の向上を飛躍的に進め、普及・促進の取り組みを加速させ、地域でのデジタル社会実現に向けた環境整備に対し重点的に支援を実施するとしています。

農業が基幹産業である本町において、歴史的な転換期を迎えています。昭和45年以降、約半世紀以上続いた、いわゆる転作制度の見直しが発表されました。水張りが行われない農地は交付金を受けることができず、転作率が70パーセントを超える本町の農業は、大きな影響を受けることになります。米の需要が減少している状況の中、農業経営を持続できるかどうかの根幹にかかわる問題であり、今後の支援策について関係機関に強く要望してまいります。

町内では、北海道ガスとの連携協定に基づき進められていた、旧滝野小学校と上里ふれあい交流センター西側の町有地に北海道ガスが建設していた太陽光発電所が完成しました。早ければ来年度にも新電力会社を通じて町内への供給が開始され、再生可能エネルギーの地産地消に向け、大いに期待されます。

また、近年の異常気象の要因となっている地球温暖化に歯止めをかけるため、二酸化炭素を抑制していく取組みが求められております。本町においても再生可能エネルギーを十分に活用し、豊かな自然を次世代に継承し一人ひとりが安心して暮らせる町を目指していく必要があります。取組みをより有効に実行していくため、昨年9月に「厚沢部町カーボンニュートラルビジョン」を策定しました。ビジョンの大きな目標である、ゼロカーボン社会に向け、2030年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指していく「ゼロカーボンシティ」を、新年の始まりにあたり宣言いたします。

昨年は、近年まれにみる台風や大雨による自然災害で甚大な被害を受けた年でした。北海道でも低気圧や前線が長期にわたり停滞し、6月と8月には檜山地方においても大雨による災害が発生したところです。いつ起こりうるかわからない自然災害の脅威に、日頃からの防災意識と災害に対しての心構えが重要であると、再認識したところであります。ハザードマップでの啓発や今後も防災備蓄計画に基づき食糧や備品の整備を進めてまいります。今年一年が天候に恵まれ、穏やかな年でありますよう願っております。

今年はうさぎ年です。芽を出した植物が成長していき、茎や葉が目に見えて大きく成長する年と伝えられ、物事が目に見えて大きく成長する年であるといわれています。また、うさぎは飛び跳ねることから、飛躍する象徴ともいわれています。

うさぎ年にちなみ、大きく飛躍する「素敵な過疎のまちづくり」にまい進して参りますので、本年も変わらぬご指導・ご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、皆様のご健勝とご多幸を、心からご祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

謹賀新年

副町長
佐藤正秀

教育長
鈴木聡

◆総務財政課
課長兼情報管理係長　合浦博昭
総務係長　青柳秀和
総務係主査　丸山祐樹
総務係　柴崎重博
財政係長　福田亜矢子
財政係兼経理管財係　亀井祐作
経理管財係長　能代一史
情報管理係　大山剛弘

◆政策推進課
課長　安田光
政策推進係長　木口孝志
政策推進係　蛯名拓斗
政策推進係（北海道から派遣）　山﨑弘貴
商工観光係長　小西智晴
商工観光係　首藤浩平

◆住民税務課
課長　安沢富士子
住民係長　中里孝子
住民係兼国保係　永井里奈
課税収納係長　三戸康彰
課税収納係　佐藤優平
〃　川瀬皓太
課税収納係兼生活安全係　山田蒼良
国保係長　中川一秀
国保係兼住民係　吉田友耶
生活安全係長　増田聡

◆保健福祉課
課子育て支援係長兼　森理生
課支援補佐兼地域包括支援センター係長兼健康増進係　木村千律
福祉係長　太田聡子
介護保険係長　藤田智美
介護保険係兼子育て支援係兼地域包括支援センター係兼健康増進係（再任用）　三橋玲子
地域包括支援センター係　米田茜
健康増進係長　石田和子
健康増進係　並川麻子
〃　奈良陽子
健康増進係兼子育て支援係兼こども園係　小森麗奈
健康増進係　笹森志穂
子育て支援係兼福祉係　船瀬祥太

◇認定こども園はぜる勤務
園長　斎藤紋子
こども園係長　佐藤武徳
主任保育教諭　橋端純恵
〃　西村智香
保育教諭　小橋朱理
〃　朝倉美樹
〃　月居茜
〃　高田智美
〃　佐藤舞

◆農林課
課長　沼下利広
農業振興係長兼農村整備係長　三上光憲
農業振興係長　杉野剛
農業振興係兼林業振興係　上條公大
農業振興係（活性化センター勤務）　堂下貴宏
農村整備係　谷口方基
林業振興係長　藤八伸太郎

◆建設水道課
課長　中野健二
主幹兼上下水道係長　北川広幸
主幹　服部常人
主管兼土木係長兼管理係主査兼建築施設係　万所貴之
土木係主査　紺野和美
建築施設係長　大森秀行
上下水道係主査　中里知弘
〃　福島耕
〃　久保田和敏

◆出納課
会計管理者兼出納課長兼出納係長　森ゆかり
出納係　清水智美

◆議会事務局
事務局長兼総務係長　髙野政人
総務係　小森賢人

◆農業委員会事務局
（兼）事務局長　沼下利広
総務係長　石井淳平
（兼）総務係　谷口方基

◆教育委員会事務局
事務局長兼総合食教センター兼学校給食センター係長兼給食センター係長　安達達也
主幹　二宮和之
学校教育係主査　荒木敬仁
学校教育係兼総合給食センター係　三上裕介
社会教育係長　板坂勇
社会教育係　富塚龍
〃　増田廉
総合給食センター係主査（再任用）　石村和子

◆選挙管理委員会
（兼）書記長　合浦博昭
（兼）書記　青柳秀和
〃　丸山祐樹

◆監査委員
（兼）書記　合浦博昭
〃　青柳秀和
〃　丸山祐樹

新年のご挨拶

厚沢部町議会議長
鈴木祥司

新年明けましておめでとうございます。輝かしい令和５年の新春を町民の皆様と共に迎えられますことを謹んでお慶び申し上げます。

併せまして、皆様には日頃から議会に対しまして、温かいご理解とご協力を頂き心から厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスは「オミクロン株」など新たな変異株を生み出しながら、依然として感染拡大を繰り返しています。国では新たな行動制限は行わず、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る方針を打ち出しました。患者発生の全数届出を見直すなど、新たな段階への移行を進めております。皆様におかれましては、これまで同様「三つの密」の回避、手洗い等の手指衛生、効果的な換気など基本的な感染防止行動を徹底し、感染リスクの軽減に努めることにより、長期に及ぶコロナ禍が早期収束に向かうことを願っております。

昨年を振り返りますと、ロシアによるウクライナ侵攻が国際秩序を大きく揺るがし、世界経済を混乱に陥れ、日本の物価高にも拍車をかけました。資源価格の高騰や歴史的円安の影響を受け、食品を中心に多くの品目で値上げの波が押し寄せ、私たちの生活を直撃しています。

これらの影響は、町の基幹産業であります農業にも及んでおり、肥料等の生産資材価格の急騰が農業経営に大きな打撃を与えていることから、総合的な影響緩和対策の早期実施が待たれるところです。

社会を取り巻く環境が著しく変化する中で、地方行政の果たすべき役割と責任はますます大きく、将来にわたり活力ある社会を維持していくためには、地域の特色を生かした地方創生の取組みを推進していくことが重要であると考えます。

今年は、私ども議会議員にとっては改選の年にあたりますが、町民の意思を的確にとらえ、町民の負託に応えられるよう努力してまいりますので、皆様の更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

迎えました新年が皆様にとって素晴らしい年でありますようご祈念いたしまして年頭の挨拶といたします。

副議長
佐々木　宏

▼総務文教常任委員会
委員長　高田一弥
副委員長　松村松雄
委員　中山俊勝
委員　上戸昌克
委員　山田行哉
▼産業厚生常任委員会
委員長　濱塚久好
副委員長　香川直樹
委員　佐々木宏孝
委員　山崎孝

◆国保病院
院長　佐々木紀仁
副院長　木村一隆
医師　岡本悠
事務長　津野修
主幹兼総務係長兼医事係　森英治
医事係長兼総務係　林慶太
栄養士　道島洋子
薬剤師長　金澤潤子
看護師長　鈴木ゆきみ
主任看護師　丹保麻美
〃　溝口真由美
看護師　中川麻子
〃　高杉裕美子
〃　杉野麻美
〃　増崎麻希
〃　青柳裕美
〃　川股登和子
〃　鈴木恵美子
〃　鈴木有希子
〃　工藤帆波
〃　下川部智香子
〃　千代田香
看護師（再任用）　國仙若子
〃　下川部紀子

◆厚沢部消防署
署長　福田昭浩
次長兼警防係長　中山博之
主幹兼救急係長　太田稔久
主幹兼危険物係長兼予防係長　三崎慶智
庶務係主査兼管理係主査　並川光生
庶務係長　松原茂樹
管理係長　下川部純
管理係主任兼庶務係主任　加澤寛明
予防係主任兼危険物係主任　酒井遵樹
予防係兼危険物係　松神雅朗
救急係主任　庄山一輝
警防係主査　柴田直行
警防係主任　唯大介
警防係　佐々木智也

農業委員会だより

新年のご挨拶

vol.117

会長
外崎　明

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。また、日頃より農業委員会活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大が進み、いまだに様々なイベントの中止や延期、会合の自粛などが続いており、外食産業の需要が縮小するなど農産物の価格は先行き不透明な状況が続いています。さらに追い打ちをかけるように肥料の高騰による経営支出の上昇が農業経営をさらに圧迫する要因となり、農家を悩ませています。国の支援策も高騰する肥料・資材費に追いついているとは言えず、農業者にとっては、今後も苦しい経営が続くことが心配されます。

農業者にとって衝撃だったのは、水田活用直接支払い交付金の厳格化により、令和８年までに水張りしない水田は交付金の対象から外れるものとされたことです。すでに令和４年度は牧草の交付金の減額がなされています。農業収入に与える影響はもとより、農地取引や農地の利活用にも大きな影響を与えるものと懸念しております。

農業従事者の高齢化や後継者不足など農地を巡る課題解決のため、農林水産省では５月に「人・農地関連施策の見直し」を取りまとめ、従来の「人・農地プラン」を「地域計画」と法定化しました。地域計画では、１筆ごとに将来の耕作者をあてはめる「目標地図」の作成を行うこととされており、農地の現状把握、農業者・土地所有者の意向把握、地域での話し合いなど、農業委員会が中心となって作業を進めることとなっています。今後の厚沢部農業の将来像を描く重要な作業であり、農業委員会は「農地の番人」であるとともに、「農地の将来像の描き手」として、その務めを果たしてまいります。

農業者のみなさまにおかれましては、なによりも農作業事故・農薬事故にご留意され、健康で実り多い一年となりますことをお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

会長　外崎明
会長代理　小野寺孔
委員　西口智章
〃　佐藤美登子
〃　木村卓也
〃　前田秀幸
〃　奈良和人
〃　木口幸弘
〃　佐藤龍也
〃　由利昭人
〃　斉藤博和
〃　吉田藍
〃　佐藤貴彦
〃　下川部和宏
（議席番号順）

▼農業者年金、売買・貸借・相続等の農地に関する事は農業委員会事務局（☎64-3314）へ

地域の住民・農業者のみなさんへ

将来の『人と農地』について話し合いませんか！

地域活動や農業を支えてこられた方々が減少し、高齢化する中で、将来の地域農業をだれが、どのように守っていくのか、地域の皆さんで話し合いをしてみませんか？

このたび、農地等に関する各法律が改正され、地域での話し合いにより将来の農地利用の姿を明確にする地域計画（目標地図）の策定が定められました。

皆さんの地域で、農地や地域農業の課題について、話し合いを行いたいとお考えの際には、役場農業委員会、農林課におたずねください。

また、地域の話し合いに先立ち、説明会の開催のご希望がありましたら、地域に出向きご説明をいたしますので、遠慮なくご相談ください。

■問い合わせ先　農林課・農業委員会　電話：６４－３３１４

瑞宝単光章を受章

鶉町 船瀬一徳 氏

令和４年秋の叙勲に元厚沢部町消防団副団長・船瀬一徳さん（74歳）が選ばれ、12月９日(金)に渋田町長から瑞宝単光章が伝達されました。

船瀬さんは昭和45年８月に消防団へ入団。平成25年３月に副団長として退団されました。42年余の長きにわたり、団員の育成に努めるとともに消防体制の充実強化に努力し、住民生活の安定に尽力してきました。

瑞宝単光章を受け取った船瀬さんは「長年消防団として活動してきて、皆さんの支えもあったおかげで、このような章をいただくことができてとても嬉しく思います。少しでも住民生活の安心に貢献出来て良かったです」と受章の喜びを語りました。

法務大臣表彰

鶉 岩田冨貴子 氏

10月24日(月)、法務省内において、人権擁護委員法務大臣表彰式が開催され、鶉の岩田冨貴子さん（70歳）が長年にわたる人権擁護委員としての活動が評価され表彰されました。

岩田さんは平成23年１月から厚沢部町人権擁護委員を現在に至るまで務め、人権擁護委員としての使命を深く自覚し、小・中学校や鶉地区での人権教室の実施など精力的に活動してきました。また、令和元年５月からは江差地区人権擁護委員協議会会長を務め、人権擁護委員組織体の円滑な運営に多大な貢献が評価され表彰されました。

12月８日(木)、表彰の報告のため渋田町長を訪問。岩田さんは「地域の皆さんの支えや協力もあり、このような賞をいただくことができました。この賞に恥じないように今後も活動を行っていきたい」と受賞の喜びを話しました。

無償での鶉西３号線町道清掃作業に対して

㈱北海道ロードサービスへ感謝状を贈呈

12月20日(火)、町は町道鶉西３号線の縁石部に繁茂した雑草や堆積した土砂等の撤去作業を無償で行った㈱北海道ロードサービス（千葉敬代表取締役）へ感謝状を贈りました。渋田町長は「作業していただいた路線は町内会から除草の要望があった場所で実施していただき大変ありがたい」と感謝を述べ、千葉代表に感謝状を手渡しました。

北海道社会貢献賞

鈴木祥司議長に贈呈

厚沢部町議会議長の鈴木祥司さん（66歳）が北海道社会貢献賞（自治功労者）に選ばれ、12月11日(火)、渋田町長から表彰状と記念品が伝達されました。

鈴木さんは平成15年５月から町議会議員を務め、これまでに産業厚生常任委員や議会広報編集特別委員、総務文教委員などを歴任。平成23年５月から現在に至り、町議会議長の重責に就き、優れた識見と行動力、町民目線の政治信念で、町政の振興発展に尽力されています。地域住民のために永年積極的な活動をしてきたことが高く評価され北海道社会貢献賞（自治功労者）受賞となりました。

議会報告会を開催します。

●日時と会場

★１月24日(火)
館地域振興センター

★１月26日(木)
鶉地区研修センター

★１月27日(金)
町民交流センターあゆみ

▼各日午後６時から開始
申し込みは不要で、どなたでも参加できます。
多数の参加をお待ちしています。

令和４年第４回厚沢部町議会定例会

令和４年『第４回厚沢部町議会定例会』が12月12日(月)・13日(火)の２日間開催され、令和４年度一般会計及び各特別会計の補正予算案や条例の制定案６件などが審議されました。

なお、議事の詳細につきましては、『議会だより２月号』及び『町ホームページ』でお伝えします。

一般会計予算を追加

令和４年度一般会計補正予算案は４９１３万円を追加し、総額を48億１１９７万８千円としました。

補正の内容は、財政調整基金積立金、役場庁舎光熱水費、敬老ことぶき商品券、経営所得安定対策等推進事業費補助金、富栄地区女性グループ活動拠点施設整備事業費補助金、熊等駆除捕獲報償費の増額などです。

「人権作文・ポスターコンテスト」４名が表彰

12月21日(水)、「人権作文・ポスターコンテスト」の表彰伝達式が厚沢部中学校（玉置英樹校長）で行われ、受賞した４名の生徒に、賞状と記念品が贈呈されました。このコンテストは身の周りにある様々な人権問題について考えてもらい、豊かな人権感覚を身につけてもらうことを目的に行われています。

▲左から渋田さん、桜庭さん、柴田さん、三上さん

表彰者名	タイトル	受賞名
○第52回中学生人権作文コンテスト「江差地区大会」		
三上　結音（３年）	「言葉」	江差地区優秀賞
桜庭　里緒（３年）	「生きる権利、死ぬ権利」	江差地区優秀賞
渋田　明意（２年）	「個性について」	江差地区優秀賞
○第52回中学生人権ポスターコンテスト「江差地区大会」		
柴田　　湊（３年）	「十人十色　それがいい」	江差地区大会奨励賞

『中学生議会』を開催

12月20日(火)、厚沢部中学校（玉置英樹校長）2年生は公民の授業で議会のことを学んだ後に、実際に議会を体験し理解を深めることを目的に「中学生議会」を行いました。

中学生が考えた町へ対する思いや提案内容の一部を抜粋して紹介します。

吉田　芽依
議長

木口　蒔仁
議員

①まちづくりについて

年々、人口が減少していて子どもの人数も減っています。私たちの弟や妹の小学校で人数が減っていることに不安を覚えます。昨年度、地域おこし協力隊の方から、「移住体験」というものを通して町おこしを行っていると伺いました。児童生徒が増えるためには、町外から移住して来る人を増やすことが大切なのだと思います。厚沢部町役場の皆様に質問と提案があります。一つ目は、むやみに増やすことは難しいと思いますが、予算を考えながらちょっと暮らし住宅を後2軒ほど増やし、厚沢部町に移住したい人を増やすことはできないのでしょうか。二つ目は厚沢部町には夏のイベントはいくつかありますが、冬のイベントはあまりありません。例えば、雪合戦やそり滑り、雪まつり、屋台で厚沢部の特産品を豚汁にして振る舞うなどの冬のイベントも行うことで厚沢部の魅力をもっと多くの人に知ってもらえるのではないかと考えます。

山田　悠生
議員

②雪対策について

雪対策について意見したいと思います。厚沢部町内で雪を捨てる場所が段々と少なくなっていることに危機感を覚えます。町内の高齢化が進んでいて、雪を処理する場まででが遠くなるとご年配の方にはより一層冬の生活が大変になるのではないかと心配になります。また、除雪車の走る時間帯も限られているため、町内の道がかなり細くなっていることも心配です。登校時に車が良く見えず、事故に巻き込まれそうなこともあったからです。また雪の処理は何も捨てることだけではありません。例えば、ほかの地域では蔵屋敷に雪を蓄え野菜の貯蔵庫として活用しているそうです。アルバイトやボランティアを募り、「雪の処理」という問題を厚沢部町の資源に変え、有効活用できるのではないかと考えています。そのような理由から私たちは、厚沢部町の雪捨て場を増やせないか役場の方々にお聞きしたいと思っています。

塚本　尚輝
議員

③道の駅の経済効果について

1年生の時に道の駅の方々や地域おこし協力隊の方とともに厚沢部について学ぶ機会を得ることができました。厚沢部町の活性化に道の駅の存在は欠かせないと思っております。そこで、リニューアルされた道の駅についてお聞きしたいことが5つあります。1つ目は、リニューアルによって観光人口がどれくらい変化し、どれほどの収入があったのかということです。2つ目は、バリアフリーの面でどのようか工夫がなされているのかです。3つ目はスクリーンの町の人からの反応です。4つ目は当初はトイレだけの改築の予定だったが、何故新しくお店をつくったのか教えてください。最後に道の駅の活性化には若い世代の来場者数の増加も重要となってくると思いますが、若い世代の人たちが楽しめる工夫を考えていたら教えてください。

由利美優香
議員

④災害対策について1

厚沢部町で予想されている災害は、ハザードマップを見ると洪水だと思います。前回の大雨でも、もう少し雨が降っていたら厚沢部川があふれそうで心配でした。私たちとしては、堤防を高くする、それでもあふれてしまったときの避難所を増やし、そこに防災キットを設置してあると安心できると話していたのですが、厚沢部町では洪水に対しどのような対策を取っているのでしょうか。

尾山　相依
議員

⑤災害対策について2

私たちが普段思っている以上に、厚沢部町では多くの災害に見舞われる危険性があるのではないかと不安に思っています。まず厚沢部町で思いつく災害は洪水です。平成6、7年等、厚沢部川水系で実際に洪水が発生し甚大な被害を及ぼしたとお聞きしています。さらに今年、厚沢部川が氾濫危険水位に達したことも記憶に新しいです。また洪水だけではなく、胆振東部地震では、厚沢部町でも大規模停電が発生しました。厚沢部町はどんな災害を想定して、どんな対策を取っているのでしょうか？最近災害が多く厚沢部町がどんな対策をしているのかを知っていれば、より避難しやすくなると思うので教えていただけたらと思います。

畑中　彩衣
議員

⑥特産品について

昨今の物価上昇による値上げと生産者の減少により厚沢部の特産品がなくなっていしまうのではないかという不安があります。メークインの生産量、特産品を加工する生産工場の数、これから売り出していく予定の特産品、厚沢部の全体の特産品の総売り上げなど厚沢部の特産品の現状について教えていただけたらと思います。また、特産品がより有名になり売り上げが増えたり、ご年配の方が農家をしていることが多いので後継者を増やし生産量が増えれば値上げが改善されるのではないかと思いますが、厚沢部町として対策していることはありますか？

町からの回答について（一部抜粋）

①まちづくりについて

1点目について、キャンセル待ちが多数あり利用したいという要望が多いため、ご提案いただいたように、来年度以降、移住体験住宅をいくつか増やしていきたいと考えているところです。2点目については「冬の道駅まつり」を今年度は何とか開催できればと検討しているところです。

②雪対策について

原則敷地内の雪については自分の敷地内で処理することがどこの市町村でもルールになっています。雪対策については今後も検討していきます。

③道の駅の経済対策について

1点目について、見込んでいた売上目標を達成し、好調なスタートを切っているところです。2点目について、正面入口にスロープを設置しており、バリアフリーに配慮し基準に沿って建設した施設となっています。3点目について、迫力あるパノラマ大画面とクリアな映像、観覧者の動きに反応して表現を変えるインタラクティブ映像など、ここにしかない施設であるとの評価をいただいています。4点目について、重点道の駅として観光客を呼び込むための目玉となる施設整備を目指すこととし、駐車場の整備、24時間トイレの建設、新商業施設の建設と、段階的に国の補助事業を活用しながら整備を行ってきたところです。5点目について、利用者や町民のニーズを把握し道の駅のさらなる魅力向上に努めていきたいと考えています。

④災害対策について1

堤防のかさ上げ等の改修については、災害の危険性について関係者と話し合いを行い、町民皆様が安心して生活ができるよう、取り組んでいます。

⑤災害対策について2

自然災害は、大雨だけではなく地震や暴風等、被害予想が非常に困難で、対策は非常に難しい状況にあります。しかし、町民の安全を第一に考え、食料品や発電機などの備蓄品を整備し災害に備えています。

防災意識の向上のため広報誌等での普及・啓発に引き続き努めていきますので、皆さんも日頃からの迅速な避難への備えをお願いしたいと思います。

⑥特産品について

メークインの生産量ですが、3600トン程を生産しています。特産品の総売上ですが、あっさぶメークインが約3億円、光黒大豆で約1億8千万円、山ゴボウで2800万円ほど、種芋生産もあり、こちらは7億8千万円ほどの金額となっています。今後も効果的な取組を継続し、農産物をはじめとする各特産品の積極的なPRに努めていきます。

江差高校生
自分たちで地域課題の解決策を考える

江差高校（武藤禎弘校長）で「南檜山学」の授業が行われ、1年生が自分たちで考えた、地域課題の解決策を発表しました。

「南檜山学」は通学区域をひとつの圏域とし、そこで働き、生きる大人との真剣な関わり合いを基盤に社会のリアルをいかに学びに結びつけるかをテーマに据え学校教育を通じて、生徒たちに地域の魅力を伝える学びの実現を目標に今年度から行われています。

12月16日(金)の授業では、「地域課題解決のプログラムづくり」の第3回目が行われ、南檜山4町の農家や町職員らをゲストに招き、9班に分かれ、イベントや環境、交通施設などのテーマ別で話し合ってきた地域課題の解決方法を発表。それに対しゲストが助言を加え、課題解決の方法を練り上げました。

地域活性化イベントや環境対策では高校生ならではの若い発想でユニークなものも発表されました。

たんぽぽの会
リサイクル活動をし、各団体へ寄贈

12月23日(金)、たんぽぽの会（岩田冨貴子会長・会員5名）は教育委員会を訪れ、「児童生徒たちの感染症対策に役立ててほしい」と、手指アルコール消毒液詰替5箱を鈴木聡教育長へ手渡しました。

同会は平成17年からリサイクル運動を積極的に行い、各会員が地域で段ボールやペットボトル、プルタブなどの回収を行っています。また、この活動に賛同し、新函館サービスセンターが段ボールの保管や運搬を無償で協力しています。

リサイクルで得た収入で町内の各施設に寄贈活動を行っています。これまでに保健福祉センターへクリスマスツリーや玩具、各小中学校へ花を贈ったり、中学校生徒会への活動費の寄贈などを実施。岩田会長は「人数は少ないがとてもやる気のある人ばかり。私たちの活動で少しでも喜んでくれる人がいてくれればとても嬉しい。今後も継続して頑張っていきたい」と活動への思いを話してくれました。

▲左から伊勢谷陽子さん、鈴木教育長、岩田会長、山崎なつさん

マイナポイントを受け取るために必要な
マイナンバーカードの申請期限は

２月末まで延長となりました！

終了する前にお早目の申請を！

問合せ先：住民税務課住民係　TEL ６４－３３１３

知っていますか？委員の「氏名・任務を紹介」します

1. 民生・児童兼福祉委員とは

民生・児童兼福祉委員は、高齢者や障がい者、ひとり親家庭などの福祉向上や児童の健全育成に向け、あなたの地域で身近な相談相手となり、地域住民と行政とのパイプ役となります。

2. 民生・児童兼福祉委員の任務

厚沢部町では70歳以上の独居世帯、80歳以上の高齢者世帯などを対象に、1カ月に1回訪問して安否確認を行う「愛のふれあい訪問事業」も民生・児童委員が担当しています。

担当委員に相談したいことがある方や連絡先が知りたい方は担当係までご連絡ください。
【担当】
保健福祉課福祉係
６４－３３１９

地区名	担当委員氏名
美和	廣　澤　カツヱ
富栄	門　間　紀美子
松園町・上の山・緑町	杉　村　憲　子
本町	佐　藤　祐　子
新町１区	近　藤　良　信
新町２区	泉　　ヱツ子
赤沼町１区	倉　谷　正　司
赤沼町２区	替　地　秀　子
上里	飴　谷　あけみ
滝野・稲見・清水	鷲　田　寿　永

地区名	担当委員氏名
鶉	川　村　龍　子
鶉町	八重樫　洋　子
木間内・社の山・旭丘	東　谷　道　子
相生・共和	森　髙　貴　子
新栄・当路	澤　口　安　秀
南館町・城丘	松　岡　万理子
館町１区・中館（甲線）	谷　口　匡佐子
館町２区・中館（乙線）	松　原　ケイ子
館町３区	尾留川　ゆかり
富里・須賀	松　橋　恭　子

※本町の佐藤祐子さんと館町１区の谷口匡佐子さんは主任児童委員も兼務しています。

戦没者等のご遺族の皆様へ

第十一回特別弔慰金の請求期限が近づいています。
令和５年３月31日までに、ご請求ください。

請求期限を過ぎると、第十一回特別弔慰金を受ける権利がなくなりますので、お早めにご請求ください。

●支給対象となる方

令和２年４月１日（基準日）において、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」などを受ける方（戦没者等の妻や父母等）がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族お一人に支給します。

支給対象者は、戦没者等の死亡当時のご遺族で
１．令和２年４月１日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方
２．戦没者等の子
３．戦没者等の①父母 ②孫 ③祖父母 ④兄弟姉妹
※戦没者等の死亡当時、生計関係があったことなどの要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。
４．上記１から３以外の戦没者等の三親等内の親族（甥、姪など）
※戦没者等の死亡時まで引き続き１年以上の生計関係があった方に限ります。

●支給内容

・国債名称　第十一回特別弔慰金国庫債券　い号　　・額面　25万円（５年償還）

■請求窓口
北海道保健福祉部福祉局地域福祉課援護係（電話 011-231-4111（内線 25-622））
厚沢部町役場保健福祉課福祉係（電話 0139-64-3319）

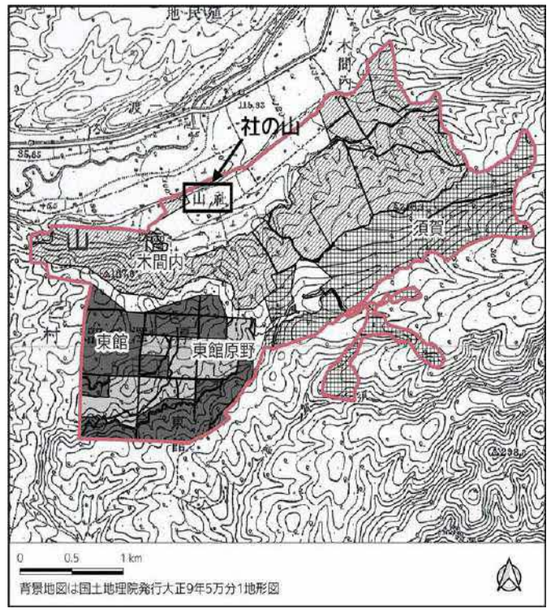
町内にある地名の由来

～「社の山」～

社の山は字名改正以前からある比較的古い地名です。明治29年の地形図には見られませんが、大正9年の地形図には社の山の表記が見られます。

「社の山」地名がいつ頃付けられたのかは、はっきりわかっていません。厚沢部町では二級町村制が施行された明治39年以降移住者が増加したとされますので、明治末頃から集落の形成がなされたと考えられます。

実は、字名改正以前に「社の山」という字名はありませんでした。国土地理院の地形図に記載されている地名でありながら、昭和35年の字名改正によって正式な字名となった社の山は古くて新し字名です。



法テラス通信

～法律家の頭の中～趣旨から考える～

vol.129

あけましておめでとうございます。本年も地域の皆様の法律問題解決に向けて誠心誠意尽くしてまいりますのでよろしくお願いいたします。

さて、お正月によく見る松竹梅。縁起物とされますよね。それぞれ冬の寒さにも耐える生命力を有しており、その成長の姿が生命力や希望を感じさせ、それが長寿・子孫繁栄・気高さのシンボルとされるようになったようです。このように、物事には「謂れ（いわれ）」があります。

法律にも「謂れ」があります。と、いうとちょっと違うかもしれませんが、その法律や規定が作られた「趣旨」があるのです。たとえば、未成年者が法律行為をするときは原則として親の同意を得なければならず、同意を得ずにした法律行為は取り消すことができます（民法5条1項2項、民法120条1項参照）。

では、例えばその未成年者が、「バイクを買おう！いざとなったらと自分は未成年だし取り消せるぞ！」と思いながら、親の同意を得ずにした売買契約は取り消すことができるのでしょうか。「取り消せるぞ！」と思って契約をするというのは、なんだか未成年者に責任があるような気がしますよね。それで取り消されたら、その契約の相手方としても迷惑です。しかし、これは取り消すことができるといわれています。ここで法の趣旨です。未成年の法律行為が取り消せる趣旨は、判断能力が未熟である未成年を保護しようというところにあるのです。そうであれば、未成年者が「取り消せる！」と知っていながらした行為であっても、判断能力が未熟である未成年の行為であることに変わりはないので、取り消せると考えられます。

このように、一見して判断に迷うような場合でも、法律家は趣旨に立ち返ることで判断をしています。判断に迷った場合はご相談ください。

★ご相談のご予約は
050-3383-5563へ

【法テラス江差
弁護士　松田　明子】

商品券の使用期限は令和5年1月10日(火)まで！

10月中旬に販売されました50％もお得な『プレミアム商品券』の使用期限は**令和5年1月10日(火)**までとなっています。使い忘れの無いようお気を付けください。期限内に活用して町内を盛り上げていきましょう！

ねんきん講座

20歳を迎える皆さん！国民年金の加入手続きを忘れずに！

国民年金は、老後の所得保障だけではなく、病気やけがで重い障害が残ったときなどにも年金を支給し、思いがけない人生の「万が一」もサポートする公的年金制度です。

『義務と権利』

日本国内にお住まいの20歳から60歳までの全ての方は、国民年金に加入して保険料を納付する義務があり、年金を受け取る権利があります。

『加入の手続き』

学生や自営業者などの第1号被保険者となる方は、お住まいの市・区役所、役場で直接、手続きをしてください。

サラリーマンや公務員の第2号被保険者の方や、その第2号被保険者に扶養される配偶者の第3号被保険者の方は勤務先の事業所が加入手続きを行いますので、個別の手続きは必要ありません。

『保険料の猶予・免除』

学生であるなど収入が少ないために国民年金保険料の納付ができない場合は、申請により保険料の納付が猶予・免除となる制度があります。

この申請を行わず、保険料が未納となっていると、「万が一」の時に障害年金が受け取れないなどの思わぬ事態を招きますのでご注意ください。

「学生納付特例制度」は、所得がない学生の方のご本人の申請により保険料の納付が猶予される制度です。年金を受け取ることができなくなることや不慮の事故等により障害が残ってしまった場合に、障害基礎年金を受け取ることができなくなることなどを防止するための制度です。経済的な理由等により保険料の納付が困難な方のために、「保険料免除制度」や「若年者納付猶予制度」もあります。

★問合せ先　住民係
☎64-3313

活性化センターだより

道南地域農業技術センター連絡会について

明けましておめでとうございます。本年も厚沢部町農業の発展に尽力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

現在、活性化センターでは土壌分析業務を行っています。毎年、秋から冬にかけて分析を行い、今年の作付けの際の施肥の参考としていただいています。昨年から化学肥料の高騰が騒がれており、化学肥料の使用量低減に向けた取り組みを進めて行く必要があります。肥料の低減に向けた取り組みを行いつつ、収穫量を確保していくためには土づくりが欠かせません。

肥料の使用量の調整以外で改善しやすいのが、堆肥の施用です。堆肥を投入すると土の中の有機物含量が増加し、土壌の団粒形成が促進され、土の中にたくさんの隙間ができることで通気性と透水性が良好になるとともに、土壌が柔らかくなる事で根が発達して養分や水分の吸収能力が高まり収量が向上します。

また、堆肥は土中の微生物にとって餌の役割にもなります。微生物活動が活発になり有機物の分解が促進されて、土壌養分の供給がスムーズになりますし、土壌病害も起こりにくくなります。

堆肥に含まれる成分は窒素・リン酸などの主要な成分のほか、マンガン・鉄などの微量な成分も含まれており、これらの成分は、土に施用されてから少しずつゆっくりと肥料と同じ効果を発揮します。このように、堆肥の施用により生物的・物質的・科学的の3つの効果を同時に得られることになりますが、やり過ぎは禁物です。

土づくりには、バランスが大事という事を忘れずに取り組んでいただきたいです。

【農業振興係　堂下　貴宏】

道路の除雪作業にご協力ください

町では、10㎝以上の積雪や吹き溜まりがあった場合、通勤時間や町民の生活に支障が生じないように町道の除雪を行っております。

安全で迅速な除雪作業に努めていますが、町民の皆様にも、次のことについてご理解とご協力をお願いします。

●雪を道路に出さない

●路上に駐車しない

●除雪車に近寄らない

除雪車には死角が多く巻き込まれると危険です。

●出入口は各戸で除雪を

●夜間の除雪体制について

危険が伴うため、夜間は除雪を行っていません。吹き溜まりの影響により交通不可となる場合も予想されることからご注意願います。

●不要な外出を控える

警報発令時は通行困難となる道路が多数発生する恐れがあります。

1&2 お知らせ&行事

1月の休日当番医

急遽変更になる場合がありますので予め確認願います。

（受付時間：9時～17時）

当番医	病院名（電話番号）
1月1日（日）	佐々木病院（52-1070）
2日（月）	上ノ国診療所（55-2017）
3日（火）	道立江差病院（52-0036）
8日（日）	勤医協診療所（52-1366）
9日（月）	道立江差病院（52-0036）
15日（日）	乙部町国保病院（62-2331）
22日（日）	道立江差病院（52-0036）
29日（日）	厚沢部町国保病院（64-3036）
	【あっさぶ調剤薬局（64-3041）】

1月の外来診療情報

厚沢部町国保病院
〔TEL64-3036〕

受付時間　午前…　8時30分～11時30分
　　午後…　13時30分～15時00分

※診療日は予定であり、医師の出張などで変更する場合もあります。事前に病院へご確認ください。
※眼科診療は事前に予約していない方も診療日当日の予約に余裕があれば、受診が可能な場合もありますので、お問い合わせください。

診療科	診療日
内科 外科	月～金曜日 （祝祭日は休診）
眼科	10日（火）・11日（水） 24日（火）・25日（水） ※水曜午後休診

北海道立江差病院
〔TEL52-0036〕

受付時間　午前…　8時00分～11時30分（初診は9時00分～）
　　午後…13時00分～14時30分

※予約受付時間（定期患者のみ）13時00分～16時00分
※診療日は予定であり、変更になる場合もあります。

診療科	診療日
整形外科	午前　月・火・木・金曜日 （午前11時迄の受付） 午後　水・金曜日
循環器内科	午前　月・火・木・金曜日 午後　月・金曜日
総合診療内科	午前　月～金曜日 （午前11時迄の受付） （月曜日は午前10時から診療）
消化器内科	午前　水曜日（午前11時迄の受付） 再診のみ、完全予約制 午後　月曜日、5.19日
呼吸器内科	午前　金曜日　午後　木曜日
神経内科	午前　6.20日
総合診療（外科）	午前　火～木曜日
外科	午前　13日（午前11時迄の受付）
小児科	午前　月～金曜日 午後　火と木曜日（午後3時～4時の受付）
泌尿器科	午前　月～金曜日　午後　木曜日
精神科	午前　月～金曜日
産婦人科	午前　16.17.30.31日 午後　16.30日
耳鼻咽喉科	午前　4.11.12.17.18.25.26.31日 （午前11時迄の受付） 午後　11.25日
眼科	午前　12.26日 （予約以外の初診受付11時迄） 午後　11.18.25日
皮膚科	午前　火曜日

変形性関節症について　その2

日常生活に特に重要なのは下肢関節と機能であり、下肢の変形性関節症に関して御話致します。いずれもまずは保存治療（内服、外用剤、リハビリ（運動療法、温熱療法、電気療法）、装具療法）が開始されますが、症状が持続、増悪する際には手術治療が考慮されます。

【膝関節】
女性の頻度が高く、60歳台で20-50%、70歳台ではさらに高頻度に認めます。画像上変形を認める人が必ずしも症状が出現するとは限らず、症状を伴う頻度は60歳以降で10-18%程度とされます。人工関節手術は日本で年間約7万5千例行われています。

【股関節】
頻度が低く、70歳台で数％以下とされます。日本では発育性股関節形成不全（いわゆる股関節のかぶりが浅い）による二次性変形性股関節症が最も多いです。人工関節手術は日本で年間約3万例行われています。

整形外科医長　霜村　耕太

食生活改善協議会　今月の簡単レシピ

豚肉のジンジャーソース

【材料（2食分）】

豚バラ肉	150g
玉ねぎ	150g
人参	50g
ぶなしめじ	50g
オリーブオイル	大さじ1
●片栗粉	適量
●しょうが	大さじ1
●酒	小さじ2
●塩・こしょう	適量
片栗粉	適量
◆しょうが	50g
◆玉ねぎ	大さじ1
◆みりん	大さじ2
◆酒	大さじ1
◆しょう油	大さじ1
◆片栗粉	適量

※●◆のしょうがはすりおろし、◆の玉ねぎはみじん切り

【作り方】
①豚肉は3センチ幅に切り●で下味をつける。10分後、片栗粉を薄くまぶす。
②玉ねぎ・人参はせん切り、しめじは小房に分ける。
③◆をボウルに混ぜ合わせる。
④フライパンにオリーブオイルをいれ①の豚肉を中火で炒め、②を加えて2～3分炒める。③を加えて弱火～中火で2～3分炒め出来上がり。

食改からのコメント
豚肉と生姜は相性が抜群！疲労回復や代謝アップの効果があります。寒いこの時期には身体がポカポカ温まる一品は何よりも嬉しいですね～！

図書館新書情報　おすすめ新着図書

新年、明けましておめでとうございます。
冬休みのこの時期、宿題、作文や自由研究で忙しい学生さんへの手助けになるおすすめな学習本をご紹介します。

「小学校6年生までに必要な作文力が1冊でしっかり身につく本」
〔安藤英明　著〕

書くことが苦手な子どもの声から生まれた作文入門書。作文を書こうと用紙を目の前にいざペンを持ったのはいいものの、何から書き始めたらいいのか、どんなことを書けばいいのか…と悩んでしまう方におすすめの1冊です。

「おいしい！ふしぎ！理科実験スイーツ とける・ふくらむギフト＆デコスイーツ」
〔WIILこども知育研究所　編集〕

お菓子づくりをしながら科学を学べるレシピ集シリーズ。マシュマロビスケットやエアインチョコなど、プレゼントしたくなるギフト向けのかわいいお菓子が掲載されています。子どもの自由研究にもおすすめ！

伝統的作業を紹介　しめ縄づくり（赤沼神社）

12月25日（日）、赤沼神社で氏子総代の皆さんが集まり、毎年恒例の「しめ縄づくり」が行われました。氏子総代では、神社の管理のほかしめ縄づくりといった活動も実施しています。明るい新年を願い丹精を込めたしめ縄が完成しました。

お探しの資料が貸出中の時は、ご予約を承っております。
また、リクエストや、北海道立図書館からの貸出も受け付けております。
どうぞ、ご利用ください。
●問合せ先　厚沢部町図書館　☎64－3436

各種申請期限が迫っています！

●福祉灯油

現在、町では、高齢者やひとり親家庭等の暖房費の一部を助成する冬期生活支援事業の申請受付を行っています。

●高齢者世帯等生活支援事業

現在、原油価格や物価高騰の影響が特に大きいと考えられる低所得の高齢者及び障がい者世帯に対して、今年度に限り臨時的に生活費の一部を補助する高齢者世帯等臨時生活支援事業の申請受付を行っています。

●電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金

物価・賃金・生活総合対策として、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（令和４年度住民税非課税世帯等）に対して、価格高騰緊急支援給付金を支給します。

確認書や申請書の提出が必要ですので期限までにご提出願います。（要件により提出するものは異なります）

★各申請期限について

各事業・給付金についての申請期限は

令和５年１月31日(火)

までとなっていますので申請忘れの無いようお気を付けください。

ご不明な点がありましたらお気軽に問合せ先へご連絡ください。

★問合せ先

保健福祉課福祉係

☎６４－３３１９

オンラインを活用して新型コロナウイルス感染防止！

国税庁ホームページでは、スマートフォンやパソコンなどから、所得税・消費税・贈与税の申告書を作成し、e-Tax（電子申告）等で提出することができます。

特に、税務署では、来署せずに、自宅等から申告手続きが完了する、簡単便利な「スマホ申告」を推進しています。感染防止の観点から、多くの方が訪れる確定申告会場ではなく、是非、ご自宅での申告書の作成・提出をお願いします。

詳しくはこちらから

★問合せ先

江差税務署

☎０３－５２－００７８

手紙を守るためのルールがあります。

手紙やはがきなどの信書は、「特定の受取人に対し、差出人の意思を表示し、又は事実を通知する文書」とされており、原則、日本郵便株式会社及び信書便事業者だけが取り扱うことができると定められています。（※宅配便やメール便では、原則として信書の送付はできません）

詳細については、

●「総務省情報流通行政局郵政行政部」

https://www.soumu.go.jp/yussei/index.html

◆問合せ先

総務省情報流通行政局郵政行政部郵便課

☎０３－５２５８－５９７５

運転免許更新時講習

◎まなびっく

☆１月12日(木)

◆優良運転者講習

13時～13時30分

◆一般運転者講習

14時～15時

◆初回更新者講習

15時45分～17時45分

☆１月26日(木)

◆優良運転者講習

13時～13時30分

◆違反運転者講習

14時15分～16時15分

年末年始の各施設休業日について

■役場

■体育館・図書館・郷土資料館

★12月31日(土)～1月5日(木)

■国保病院

★12月31日(土)～1月5日(木)

■道の駅あっさぶ

★12月30日(金)～1月5日(木)

■上里ふれあい交流センター

■館地区憩いの家

★12月31日(土) 17時まで営業

★1月1日(日)～4日(水)は休館

★1月5日(木)～通常営業

■うずら温泉

★12月29日(木)

通常営業

★12月30日(金)

●レストラン

休業

●日帰り入浴

19時まで営業

★12月31日(土)～1月2日(月)

全館休業

★1月3日(火)～通常営業

★★★南部桧山清掃センターからのお知らせ★★★
1月28日（土）は休日のため当施設へのごみの搬入はできません。
ごみ収集カレンダーにも掲載してありますので、ご確認ください。
【問合せ先：南部桧山清掃センター（☎53-6301）】

善意感謝致します

◎社会福祉協議会へ

☆御香料のお礼に代えて

富栄・上戸るり子さんから

１００，０００円

●鶉地区研修センターへ寄贈

鶉町・古谷俊美さんから

手すり

８０，０００円相当

子どもの写真が表紙になる！
世界でたった一つの
記念版広報あっさぶ
を記念に作りませんか？
出生届から１年以内であれば申し込み可能です！
お子さんの生まれた記念に作ってみませんか？
申し込み・お問い合わせは
政策推進係　TEL：64-3312

令和５年度厚沢部町役場職員採用試験について

☆一般行政職☆	
受付期間	令和５年１月10日（火）まで
試験日時	令和５年１月22日（日）午前９時（予定）
試験会場	厚沢部町役場　（厚沢部町新町２０７番地）
採用人数	若干名
受験資格	○年齢要件　昭和63年（１９８８年）４月２日以降に生まれた者 ○住所要件　住所要件はありませんが、採用後厚沢部町に居住できる者または通勤可能な者 ○資格等要件 ①普通自動車免許 ②学校教育法による高等学校以上の学校を卒業した者 ③民間企業等における職務経験を３年以上有する者（パート・アルバイト等除く。） ※民間企業における職務経験とは、民間企業の社員、公務員、団体職員、自営業者等として就業した経験
職務内容	一般行政事務に従事

☆建築技術職員☆	
受付期間	令和５年１月10日（火）まで
試験日時	令和５年１月22日（日）午前11時（予定）
試験会場	厚沢部町役場　（厚沢部町新町２０７番地）
採用人数	１名
受験資格	○年齢要件　昭和58年（１９８３年）４月２日以降に生まれた者 ○住所要件　住所要件はありませんが、採用後厚沢部町に居住できる者または通勤可能な者 ○資格等要件 ①普通自動車免許 ②学校教育法による高等学校以上の学校で、建築の学科またはこれに類する学科を履修し卒業した者で、２級建築士または１級建築士の資格を有する者 ③建築設計・施工に関する実務経験を、高卒の場合は５年、短大・大卒の場合は３年以上有する者
職務内容	建築技術業務及び一般行政事務に従事

申し込み先

厚沢部町役場総務財政課総務係
〒043-1113　北海道檜山郡厚沢部町新町２０７番地
TEL：６４－３３１１

戸籍の窓

（12月23日届出分まで）

おたんじょうおめでとう！

赤沼町　小野寺　玲勇（れお）　くん　12/13
（雄大さん＆美佐さん）

美　和　野　崎　璃茉（りま）　ちゃん　12/17
（丞仁さん＆柚希さん）

おくやみもうしあげます

旭　丘　菊池　勇子さん（96歳）11/25
赤沼町　糸畑　正美さん（68歳）11/28
富　栄　上戸　テルさん（92歳）12/16
富　栄　髙野　正人さん（51歳）12/21
富　栄　杉野サトノさん（101歳）12/22
館　町　田中　きよさん（81歳）12/22

町の人口

令和４年11月末現在

	世帯	男	女	人口	前月からの人口増減
下地区	1,082	986	1,096	2,082	(＋2)
鶉地区	304	302	301	603	(－5)
館地区	431	389	430	819	(－6)
全　町	1,817	1,677	1,827	3,504	(－9)

※外国人住民を含む

厚沢部町ふるさと納税寄附状況

（12月20日届出分まで）

今月の寄附件数	132件
今月の寄附金額	3,637千円
令和４年度寄附件数累計	1,064件
令和４年度寄附金額合計	16,828千円
前年度寄附金額	32,257千円

厚沢部町交通死亡事故死ゼロ記録簿

令和４年12月25日現在

連続		7	1	5	日

▲たいこやま組（４歳児）の舞踏劇

３年ぶりにあゆみ会場で発表会！

12月17日（土）、認定こども園はぜる『はっぴょうかい』があゆみで開催され、３歳以上児は、保護者が見守る中、元気いっぱいに取り組みました。最後の発表会となるししまい組（年長児）は着物や袴を着ての踊りなどを披露。特に「レッツチャレンジ完結」では、縄跳びや三点倒立、跳び箱など練習してきた成果を存分に披露しました。

▲ししまい組（５歳児）の遊戯▲

▲ししまい組（５歳児）の和太鼓▲

◀ししまい組（５歳児）のパフォーマンス「レッツチャレンジ完結」

▲ししまい組（５歳児）のパフォーマンス「レッツチャレンジ完結」

時間（とき）を刻む

▼あゆ組（３歳児）のパフォーマンス

あとがき

▼新年あけましておめでとうございます。昨年も広報あっさぶをご覧いただき誠にありがとうございました。皆さんにとって昨年はどのような１年だったでしょうか。広報あっさぶは節目の７００号を迎えたり、タイトルを変えたりと変化のある年でした。▼赤沼神社氏子総代の皆さんの「しめ縄作り」。数名が集まり、神社や鳥居に飾わるしめ縄３本の作業が行われました。１本の長さは３メートルほどとなります。編む作業の際には複数人で協力し合いながら、編む方向を間違わないよう丁寧に作業を実施。作業した方は「作る人の年齢も高齢化してきており、いつまで続けられるかわからないが、伝統のある作業なので続けていきたい」としめ縄作りへの思いを休憩中に話してくれました。何気なく飾られているしめ縄でしょうが、裏ではこうしてつくれている人がいるということも知ってもらえればと思います。▼個人的には2022年後半は指を骨折したり、帯状疱疹にかかったり、今号を作っている最中にぎっくり腰になったりと良くないことが続きました。新年になり運気が変わり良いことがたくさん起きるといいなと願っています。▼今年は「卯年」。飛躍・成長の年だと言われています。個人的には20代最後の年。広報でもいくつになっても成長していきたいと思います。本年も広報あっさぶをどうぞよろしくお願いいたします。（えび）

広報あっさぶ
令和５年１月号（第709号）
発行　厚沢部町政策推進課政策推進係
〒043-1113　檜山郡厚沢部町新町207番地
TEL 0139-64-3312　FAX 0139-67-2815
HP◇https://www.town.assabu.lg.jp
E-Mail◇info@town.assabu.lg.jp